

〈開催講座案内〉

～いまこそ、考えたい戦争と平和～ シリーズ〈戦後80年〉

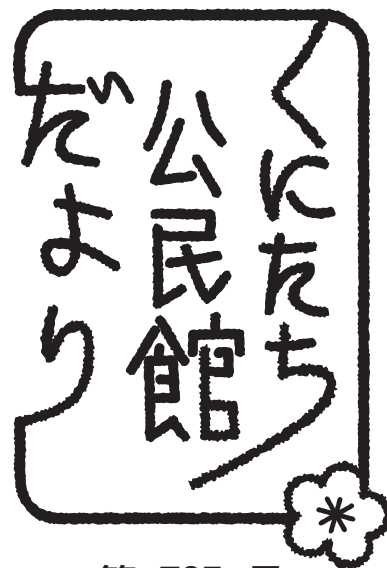
2025年、日本は終戦から80年を迎えます。日本が、世界が、なぜ戦争を回避できなかったのか。あのとき、何が選択され、何が起こったのか。

80年という歳月を経て記憶の風化が危ぶまれるなか、公民館ではあらためてさまざまな角度から過去の戦争を知り、平和について考えるシリーズ講座を企画し、順次開催していきます。

いまに生きる私たちが、これからの時代を紡いでいくための選択の一助となるよう、80年前をふり返り、平和について考え続けたいと思います。

◆開催講座一覧◆

開催日	内 容
8月8日（金）	ナチス・ドイツ—歴史学からの検証
8月9日（土）	台湾生まれの日本人「 ^{わんせい} 湾生」の軌跡
8月16日（土）	国立市ゆかりの画家 平松輝子・二紀和太留が 込めた平和への想い
8月24日（日）	CINEVOX 公民館映画会『父と暮せば』 ※詳細・募集は8月号に掲載します
9月13日（土）～	国立・多摩地域の戦争（全3回） ※詳細・募集は8月号に掲載します



第 785 号

2025年 7 月 5 日

(令和 7 年)

「くにたち公民館だより」
デジタルブック▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

ナチス・ドイツ—歴史学からの検証

講 師 小野寺 拓也（東京外国語大学）

1933年頃から第二次世界大戦終結まで、戦争、ホロコースト、しょうがいしゃに対する「安楽死」など、現代社会において決して許容されない政策を行ったナチス・ドイツですが、「ナチスは良いこともした」という議論が国内外で定期的に繰り返されています。

小野寺さんは右記の著書において、70年以上にわたるナチズム研究の成果を踏まえて、「ナチスは良いこともした」という主張がいかに不正確で一面的であるかについて明らかにされています。今回は、著書で検証されているナチスをめぐるさまざまな現象についてお話いただきます。

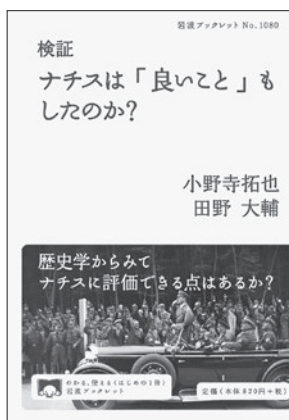
と き 8月8日（金）夜7時～9時

ところ 公民館 地下ホール

定 員 70名（申込先着順）

申込先 7月8日（火）朝9時～

電話またはホームページより



◀小野寺拓也、田野大輔著『検証
ナチスは「良いこと」もしたのか？』（岩波書店）



▲講師の小野寺さん

小野寺さんらの著書『検証 ナチスは「良いこと」もしたのか？』では、アウトバーン建設、失業率の低下、労働者向けの福利厚生、少子化問題の克服、環境保護政策など、ナチスの功績とされがちな事象を取り上げ、歴史的事実やその背景などについて、さまざまな角度から考察をしています。

～いまこそ、考えたい戦争と平和～ シリーズ〈戦後80年〉

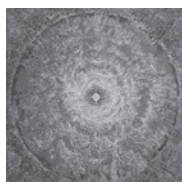
国立市ゆかりの画家 平松輝子・二紀和太留が込めた平和への想い

お 話 平松 朝彦^{あさひこ} (宇フォーラム美術館 館長)

1920年代にパリで活躍した前衛画家、坂田一男に師事した平松輝子・二紀和太留は、ともに国立三小・四小で美術の先生をしていた国立市ゆかりの画家です。二紀和太留は第二次世界大戦で、マリアナ沖海戦、レイテ沖海戦に参戦しながら奇跡的に生還しました。2人はそうした戦争体験を経て、平和への想いを込めた作品を多く残しています。

今回は2人が設立した私設美術館「宇フォーラム美術館」で毎年開催しているレクイエム展の展示を見ながら、2人のご子息である平松朝彦さんに、平松輝子・二紀和太留の足跡と作品に込めた想いを解説していただきます。

戦後80年の節目に、絵画作品を通じて、ともに平和を考えませんか。



二紀和太留
「原爆」

と き 8月16日(土) 朝10時～12時

ところ 宇フォーラム美術館 (国立市東4丁目21-10)

※国立駅・谷保駅から徒歩20分

定 員 20名 (申込先着順)

申込先 7月10日(木) 朝9時～

電話またはホームページより



台湾生まれの日本人 「湾生(わんせい)」の軌跡

お 話 新元 久^{にいもと ひさし} (元・明治製菓食品開発研究所首席研究員)

コーディネーター 原口 直希 (東京大学大学院博士後期課程／日本学術振興会特別研究員 DC1)

日本統治下の台湾で生まれ育ち、戦後日本に引き揚げてきた「湾生」のことを知っていますか？

新元久さんは1931年に台南で生まれ、14歳まで台湾で過ごしました。サトウキビ畑で過ごした幼年時代、台北に移ってから少年時代を過ごした活気ある街並み……。しかし、日本の敗戦により状況は一変します。

今回は、今年1月に開催した「日本統治期台湾文化史に見る台湾人の足跡」講師の原口直希さんを聴き手に、少年時代を過ごした往時の台湾、空腹とたたかった引き揚げ船のこと、日本に帰ってからの生活などについてお話しいただきます。新元さんは「きのこの山」の開発者としても著名な方ですが、その開発には台湾での思い出も深くかかわっているそうです。

「湾生」の生の声を伺うことで当時を知り、戦争と平和について考える講座にしたいと思います。

と き 8月9日(土) 昼1時半～4時半

ところ 公民館 地下ホール

定 員 70名 (申込先着順)

申込先 7月9日(水) 朝9時～ 電話またはホームページより



第61回東京都公民館研究大会 (主催：東京都公民館連絡協議会) 基調講演の講演要旨のご紹介

※講演記録全文含む大会
記録集はこちらで読むこ
とができます。➡



2025年2月8日(土)に、東京都公民館研究大会がくにたち市民芸術小ホールにて開催されました(参加者161名)。

公民館は戦前・戦中の深い反省に立ち、戦後の平和と民主主義のための社会教育施設として出発しました。東京・多摩地域の公民館は、「都市型公民館」として活発に活動し、発展してきた歴史があります。

今回紹介する基調講演では、そうした都市型公民館の発展を支えた、『新しい公民館像をめざして』(東京都教育庁1974年発行、通称「三多摩テーゼ」)がテーマになりました。そのモデルの一つとされる国立市公民館が70周年を迎えるいま、国立市が事務局として企画・準備した今大会の基調講演のエッセンスをご紹介します。

基調講演「三多摩テーゼの 歴史的意義と今後の展望」

佐藤 二子^{ふかこ} (東京大学名誉教授)



国立駅を久しぶりに降りまして、本当にすてきなまちだなと、改めて思いました。私は東京23区内の生まれなので、公民館の「こ」の字も知らなかった大学院生でしたが、昔、徳永功さんが国立市公民館長をしていた頃、国立市には度々お邪魔したことを思い出します。

公民館の原点と国際的な動向

まず公民館は、戦前・戦中の深い反省に立って、平和と民主主義の担い手を育成、形成するという教育の根本的な理念を持ち、教育基本法や社会教育法によって打ち出されました。日本では、戦争終結の翌年1946年に、当時の文部省社会教育課長の寺中作雄によって公民館の建設が提唱されました。そこから公民館を中心とする日本の社会教育の地域的な発達が脈々とそれぞれの地域で進められていくわけです。その根本には、平和で民主的な国家を担う国民を

形成し、戦前の過ちを繰り返してはいけないという強い思いが込められていたことを再確認しておきたいと思います。

国際的な成人教育の動向においては、まず1985年に人権としての学習権思想がユネスコで提唱されて、「学習権宣言」が出されています。その後1996年、ユネスコの教育国際委員会の報告書『学習・秘められた宝』が出されますが、ここでは人間として共に生きるということを強調して「共に生きることを学ぶ」機会としての成人教育の重要性が提起されています。近年の国際的なユネスコを中心とする成人教育の捉え方は、学習権を保障するということが、全ての人が学びの機会に参加できる、そういう成人教育の在り方を繰り返し強調しています。現代の国際動向は、まさに成人教育を学習権として保障する、そうでないと共に生きることができない、それぐらい分断が進んでいる社会、国際社会なのだと繰り返し述べられています。

「三多摩テーゼ」とは

現在、公民館は全国的に非常に困難な課題を抱えています。が、そうした課題を乗り越えて未来を見つめていくうえで、三多摩における公民館の発展の歴史をふり

返ってみたいと思います。本日のテーマの「三多摩テーゼ」は、都市型公民館をつくり出す上で全国へ決定的な発信をしました。多摩地域では、住民運動、平和運動、子育て運動などが広がる中で、住民の公民館を求める動きを受け止めて、多摩地域の自治体職員と東京都教育庁や研究者が共同して、都市型公民館のあるべき姿を提言するために『新しい公民館像をめざして』（三多摩テーゼ）を1974年にまとめました。三多摩テーゼが生まれた背景として、1960～70年代、急激に都市化する社会において、都市における社会教育の必要性が全国で議論されました。三多摩テーゼでは、「住民の自由なたまり場」「集団活動の拠点」「私の大学」「文化創造のひろば」という公民館の「四つの役割」を提言しています。

くにたち公民館をモデルにした「公民館三階建て論」

実は三多摩テーゼに先がけて、国立市公民館をモデルにした「公民館三階建て論」という提言が1963年に出されていました。1階は体育・レクリエーションのよう、みんなが集まって体を動かす場やたまり場、2階はグループ・サークルのような小集団活動、そして3階は講座室のような系統



講演に耳を傾ける大勢の参加者

的な学習の場。これは単に建物が3階建てであるべきという設計的な話ではなくて機能的なこと、つまり成人の学びとは何かという問いに迫る学びの構造化ということと施設の機能の在り方というものを連動させた議論と言っていると思います。この「公民館三階建て論」を発展させて、三多摩テーゼでは施設の機能がどうあるべきか、設計上のビジョンも打ち出し、それまでの農村の集会所施設的な公民館とは違う、多様な学び、多様な市民の活動にに応じられる、施設が整備された公民館の新しいイメージを打ち出しました。

今の三多摩も、市民ニーズを掘り下げた学習内容の学級・講座、あるいは市民が自ら参加してつくる市民参画企画、そして高度な市民大学の事業など、そういう実践

が当たり前に行われるという、市民主体の社会教育という理念の伝統を残しながら、それが非常に高い質を確保して定着していると思います。

もう一つ大事な点は、カフェのような居場所の役割です。つながりづくりという役割が最近、強調されています。そうした居場所づくりということと系統的な学習が、相互の連関をもっているということが多摩地域では十分に果たし得る公民館機能になっているのではないかと、これは大きな意義だと思います。市民の力で社会教育活動をつくってきたという三多摩の歴史、なかなか他の地域では展開できないものではない貴重な自分たちが歩んで築いてきた歴史なのだと改めて自覚して、大事に育んでいきたいと思っています。

「学びの公共空間」としての公民館の必須性

社会教育って要らないの？なくてもいいの？好きな人がやればいいの？という問いを持つ方もいるかもしれません。これまで触れてきたような歴史や国際的背景のもと、なくてはならないという意味での公民館の「必須性」、これをどう住民と社会教育の行政の現場で共有していくのか。大きな課題です。公民館では、一人一人の学習者

が自分の思い、考え、価値観、人権意識、そういうものを自由に表現できる、その相互学習の自由というものをいかに保障していくか、これは社会教育行政の大きな役割であるということを改めて確認したいと思います。市民の自発的な学習、そして一人一人が生涯学習ということを、いかに公共が支援するのか、教育行政の役割としての社会教育法制定からずっと問われ続けていることで、好きに民間のカルチャーセンターなどに行けばいいですよという話とは違います。なぜなら、公民館では、お互いにつながり合い、地域をつくる住民の自治の意識が芽生えるからです。もちろんカルチャーセンターでの学びも否定しません。それとは異なる、地域で自主的、自発的に相互に学び合いを育んでいく公民館の役割を「学びの公共空間」と私は表現してきました。できれば中学校区に1館、そういう体制を維持していく社会教育法の意義を市民全体で共有しながら、まちづくり、文化、そして自分たちの地域参加のよりどころとしていく。そうした日本の社会教育の発展のために一人一人の市民が力を発揮していくことを心から期待しています。

はじめての銅版画 — Etching Work Shop —

講師 山本 佳奈枝(銅版画家)
さかた きよこ(銅版画家)

興味はあるけど、難しそう? どうやって作るのかな?
そんな疑問に応えながら銅版画創作を楽しむ、初心者向けのワークショップです。銅版画ならではの繊細な線で小さな作品を創ります。集まった仲間とともに作業の時間を楽しみながら、作品を創ってみませんか。出来上がった作品はロビーで展示する予定です。

と き 7月20日、8月3日、24日、8月31日
いずれも日曜日 昼2時～5時
ところ 公民館 3階集会室・実習室
定員 10名(申込先着順)
対象 原則休まずに出席できる方、市内在住、在学、在勤の方、はじめて参加する方を優先。中学生より一人での参加可。
材料費 2,000円(ニードル、銅板、版画紙など)
持ち物 8×10cmの下絵(タテヨコ自由)
エプロン(よごれてもよい服装)、筆記用具
申込先 7月8日(火)朝9時～ 電話で公民館へ



銅版画(エッチング)とは、銅板に描いた絵を腐蝕させて版を作り、できた凹部にインクを詰めて紙をのせ、プレス機で刷って作る版画です。

◀昨年度の作品から

★★★★★★〈親子で遊ぼう・考えよう〉★★★★★★

プラネタリウムで星を見よう!

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

桐朋中学・高等学校のプラネタリウムを使って、四季折々の星座のお話をさせていただきます。

天気が良ければ大きな天体望遠鏡や太陽観測の望遠鏡の見学もします。

お話 上原 隼(桐朋中学・高等学校教諭)

と き 8月23日(土)
第1回: 朝9時～10時半
第2回: 朝11時～12時半

ところ 桐朋中学・高等学校 教科教室棟(4階)
※桐朋学園通りに面した北門からご入場ください。

用意 上履き、靴袋をお持ちください。(土足厳禁です)

対象 子ども(3歳以上)と保護者(市内在住者のみ)

定員 1回につき25組(1組3名まで)

※応募者多数の場合抽選

申込先 7月23日(水)夜9時までに、
ホームページより



〈図書室のつどい〉

千葉からほとんど出ない引きこもりの俺が、 一度も海外に行ったことがないまま ルーマニア語の小説家になった話

お話 済東 鉄腸(映画ライター、作家)

ルーマニアと聞いてどのようなイメージを持ちますか?
学校卒業後の引きこもり生活の中で済東さんはルーマニア映画に魅了されます。独学でルーマニア語を学び、後にルーマニア語で小説を書き始め、日本人では珍しいルーマニア語で作品を書く小説家として活躍。作品の数々は現地でも話題を呼んでいます。

クローン病を患い、ルーマニアには一度も訪れたことのない済東さんですが、「今立っている場所でもやれることがある、その場所でこそ成し遂げられることがある」と言います。毎日の焦燥感の中からどのように自分のやれることを見つけていったのか、また、ルーマニアの言葉や、映画、小説の魅力や特徴についてもお話しいたします。

〈済東さんの本〉

表題作、『クソツツレな俺をマシにするための生活革命』(いずれも左右社)

と き 8月3日(日) 昼2時～4時
ところ 公民館 地下ホール
定員 70名(申込先着順)
申込先 7月11日(金)朝9時～
電話またはホームページより



〈くにたちブッククラブ〉
—自分と「似ているもの」/「似ていないもの」—

有吉佐和子『青い壺』

(文春文庫)

講師 佐藤 泉(青山学院大学・日本近代文学)

5月から、8回にわたり様々な日本の文学作品を味わう「くにたちブッククラブ」を実施しています。

今回は3回目。およそ半世紀前に刊行され、現在話題沸騰中の『青い壺』を取り上げます。

講座では、参加者の感想を全体で共有し、講師から作品の解説をしていただきます。年間通しての参加はもちろん、今回だけの参加也大歓迎です。

と き 7月10日(木) 夜7時半～9時半

ところ 公民館 3階講座室

定員 30名(申込先着順)

※参加者多数の場合、市内在住・在学・在勤の方を優先することがあります。

申込先 電話またはホームページより

※詳しくはホームページをご確認ください。



公民館の緑化日記



▲バラ

公民館にお越しの際は、四季折々の草花をお楽しみください。

今年もツツジやバラがきれいに咲きました。



▲ツツジ

公民館の緑化活動に参加しませんか

公民館の草花の手入れは、緑化ボランティアのみなさんが行なっています。緑化活動を通して、植物を育てる喜びや公民館を緑で豊かにする達成感を得ることができます。

活動にご興味のある方、協力していただける方は、公民館までご連絡ください。

活動内容：植木の剪定、草花の栽培・手入れ、敷地内の除草など

活動頻度：月1回程度（原則、毎月第2土曜日の朝9時～11時）※任意参加

第70回くにたち市民文化祭 —総合美術展のお知らせ—

実行委員会企画「総合美術展」を以下の日程で開催します。絵画・写真・手工芸・書など、グループ・サークルに関係なく自由参加できる展覧会です。

◆開催期間：10月21日（火）～10月26日（日）

募集要項は8月1日（金）以降、次の施設に置いてあります。皆さまのご応募をお待ちしております！

【募集要項配布場所】

公民館、市役所総合案内、中央図書館、郷土文化館、芸小ホール、福祉会館、北・南市民プラザ、旧国立駅舎

昨年の展示の様子



地下ホール：絵画



市民交流ロビー：写真



3階集会室：手工芸



3階講座室：書

公民館保育室を活用しませんか

～子どもを預けて学ぶ大人・サークルを応援します～

公民館1階の保育室をご存じですか。

子育て中の方は、保育室に子どもを預け、公民館内で活動ができます。乳幼児をもつ保護者が、大人同士で学びあったり、仲間と一緒に活動したり、公民館の主催講座に参加したりする時間、こうした公民館での学びを支えるため、公民館保育室が設置されています。

保育者・子どもともに、同じ曜日に同じメンバーで継続して通うことで、子どもと大人の信頼関係が育まれ、子どものより豊かな生活、成長の場となることを目指しています。通い始めたころは、泣いてしまう子どもも、定期的に通うことで、保育室内にお友達ができ、楽しんで通う姿が見られるようになります。

「サークル活動をしたいけど、子どもがいるから難しい」「子どもを抱えながら活動続けるのは大変……」とお悩みの方、公民館保育室を利用してみませんか。



開室時間

火曜日～金曜日 午前10時～12時
など

利用条件

- ・市内在住であること
- ・公民館内の集会施設で主催事業・グループ活動に継続的に参加すること（例えば、毎週火曜日午前というように定期的に通えること、原則として1～2週間に1回）
- ・子どもが生後6か月から小学校入学前であること

申込

- ・グループごとに、公民館2階事務室で受け付けます
- ・利用する前月の6日から15日（15日が休館日の場合は14日）までの間に申し込んでください
- ・通い始めるにあたっては、事前にオリエンテーションを行います

【問合せ先】 詳細は公民館にお問い合わせください



公民館のQ & A

このコーナーでは、公民館についての疑問に答えます。
今回は、「会場利用」についてです。

Q 公民館の会場はどのような団体が利用できますか？

A ● 1. 3名以上のグループ活動であること
2. 半数以上が市内在住、在勤、在学の方で構成されるグループであること
3. 営利に関わる活動でないこと
以上が会場の利用要件です。
● 個人での利用(市民交流ロビーを除く)、指導者が生徒を集める教室などではお使いいただけません。

Q 部屋の空き状況はどのように確認できますか？

A ● 部屋の空き状況は公民館窓口で確認していただくか、電話で問い合わせいただくことが可能です。また、公民館ホームページでも申し込み状況掲載しています。あくまでホームページ掲載時点での申し込み状況のため、最新の空き状況を確認する場合は、窓口・電話でご確認ください。



会場申込状況

Q 歌や楽器など、音を出す活動の場合、どの部屋を利用できますか？

A ● 音の出る活動は地下ホール、音楽室をご利用ください。また、太鼓など音の大きい楽器は館内全体に響いてしまうため、お使いいただくことはできません。
● 演劇など、大きく響く声を出す活動の場合も、隣の部屋に響いてしまうことがあるので、可能であれば地下ホールか音楽室をご利用ください。空き状況によっては、部屋が隣り合っていない和室などのご利用をお願いする場合があります。

Q 活動で使用する道具を預けることはできますか？

A ● 道具を預かることはできません。ご利用の際に各グループで必要な道具を持参ください。各部屋の戸棚等に置かれている場合、通常の忘れ物と同じく、保管期限を過ぎれば廃棄させていただきます。

—公民館の会場予約のご案内—

公民館の会場をより多くの団体が利用できるよう、各団体の利用希望を調整する機会を設けています。
9月～12月(ロビーは10月～1月)の会場調整会日程は以下の通りです。

■今後の会場調整会日程

(※いずれも午前10時～)

使用希望月(ロビー)	(☆)申込書のポスト投入期間	(★)重なり団体の掲示日	会場調整会
9月(10月)	7月5日(土)～7月24日(木)	7月26日(土)	8月2日(土)
10月(11月)	8月2日(土)～8月28日(木)	8月30日(土)	9月6日(土)
11月(12月)	9月6日(土)～9月25日(木)	9月27日(土)	10月4日(土)
12月(1月)	10月4日(土)～10月23日(木)	10月25日(土)	11月1日(土)

●会場調整会参加の流れ

①表(☆)のポスト投入期間に、公民館1階入口正面の会場別ポストに「申込書」を入れてください。

②表(★)の日程で、重なり団体一覧を館内に掲示します。ホームページからもご確認いただけます。

③重なりの掲示があった団体…会場調整会への参加
調整会は1団体1名、第1希望が取れなかった場合の別の候補日や会場を想定して、最終的な判断ができる方がご参加ください。(開始時間に遅れたり、不参加の場合は、使用希望は取り消しとなります)



重なり団体一覧

重なりの掲示がなかった団体…

お申し込みの日程と会場で仮予約ができています
(調整会参加の必要はありません)

会場調整会の翌日以降、2階事務室へ本申込みにお越しください。

★「参加申込書」を提出していない団体の予約方法

- ・2階事務室での受付…会場調整会当日の午後2時～
 - ・電話での仮予約…会場調整会当日の午後3時～
- ※受付時間:午前9時～午後5時(月曜、祝日、年末年始を除く)

*詳細や不明な点は、HPをご確認いただくか、公民館窓口にお問い合わせください。
*会場調整会は、公民館利用者連絡会のご協力により実施しています。



申込方法詳細

公民館のWi-Fiが 新しくなりました！



7月1日より館内のフリー Wi-Fi が新しくなりました。案内は館内に掲示しております。

SSID：.Guest_Wi-Fi パスワード：0425725141

くにたち デジタルブック



過去の公民館だよりをご覧になりたい方は、『くにたちデジタルブック』もご活用ください。

国立市デジタルライブラリー 検索

「サークル訪問」に掲載を希望する サークル募集！

「サークル訪問」は、公民館だより編集研究委員会の委員が市内で活動するサークルに伺って取材し、公民館だよりへ記事を掲載するコーナーです。活動内容の紹介や、メンバー募集を希望するサークルのみなさまは、ぜひご連絡ください。

〈お問い合わせ先〉公民館 ☎042 (572) 5141

〈職員不定期「ラム公民館の窓」〉 公民館との出会いと講座

市役所に入職以来、今年4月に初めて公民館配属となりました。公民館の仕事に慣れ覚えるのに焦りも感じておりますが、市民の学ぶ姿を励みに、少しずつ経験を積み役立つつよう努めていく所存です。今年度は、公民館主催講座「古典への招待『万葉集』を読む」を担当することになりました。この講座は、独学では難解な古典文学を講師の方に解説いただき、参加者同士が互いに感想や知識を共有しながら鑑賞することで理解を深めています。

『万葉集』は一つの歌集として捉えると、巻一から巻十六までを第一部に、巻十七から巻二十までを第二部に分類できます。今年度は前半の天平時代までの和歌を読み解くことで、大和王朝における天皇皇族の心境に触れ、受講者各自が『万葉集』と「現在」との関係をつまえていくことをねらいとしています。歌をとおして古典の解釈に触れることで、私も学生時代に学んだ古典に新たな視点を見出すことができ、大変有意義でした。今後も担当する市民文化祭等をとおして様々なグループの活動内容を知り、公民館職員として成長できればと思います。(日・工)

ひろば

(8ページにもあります)



ターゲットバードゴルフ体験会

運動不足の解消、ゲーム感覚の楽しさ、ゴルフの快感を同時に体感してみませんか。愉快的仲間との交流も楽しいですよ。第三公園グラウンドにてお待ちします
日時 毎週木(12時・金(9時)
場所 谷保第三公園野球グラウンド
連絡先 坂井090(249) 9175

楽しく歌おう「ひまわりの会」

ピアニストの方の指導で表現豊かな演奏で会員を曲の世界へと引きこめます。童謡、唱歌、日本や世界の名曲を歌います。乞うご入会。
日時 第2・4水曜日 朝10時
場所 北市民プラザ多目的ホール
連絡先 新里042(577) 1062

アクアかもめ水泳会員募集

運動不足の方、健康な体づくり、水泳を始めてみませんか。初心者・上級者、泳力別にコーチの指導を受けて泳ぎます。男女問いません。体験可。(無料)
日時 毎週金曜日朝10時～12時
場所 FSXアリーナ室内プール
連絡先 安藤042(527) 2255

水泳「とびうお」会員募集

若い方、シルバーの方、男性も公認コーチの下、レベル別に楽しく泳いでいます。まずは体験(無料)してみませんか？入会お待ちしております。初心者大歓迎！
日時 毎週火曜日 昼12時～2時
場所 FSXアリーナ(総合体育館)
連絡先 野上080(1064) 9064

くにたち写真会 会員募集

写真が好きな方、一緒に楽しみたい。月一回の講師の指導、随時撮影会、年に一度の写真展開催。写真を通して地域の仲間づくりを目指します。
日時 第3水曜日 昼1時～4時
場所 公民館
連絡先 榎戸090(775) 5124

公民館運営審議会報告

6月10日(火)第35期第8回定例会を開催。委員12名、館長、職員2名出席。傍聴人4名。

前回事務録確認 議事録修正あり。

報告事項

公民館だより編集研究委員会、社会教育委員会の会、東京都公民館連絡協議会、社会教育学習会担当委員より報告。職員より70周年記念事業について報告。
○社会教育委員会の会より、5月より第26期が発足、議長・副議長の選出についてなどを報告。
○東京都公民館連絡協議会委員部会は6月より定例会を開催。
○社会教育学習会担当委員より、

今年度の社会教育学習会について検討中の内容を報告、秋頃開催の方向で調整していく。

審議事項

○令和7年度予算・事業計画について館長の報告を受け、質疑応答。
○前回に引き続き、審議会で「調査・検討したいテーマ」について委員から発表及び質疑。次回も引き続き協議していくこととなった。
○70周年記念事業について、審議会としてどのように関わっていくか、継続して検討していく。
次回7月8日(火)夜7時15分から講座室。傍聴歓迎。(三谷)



今月の公民館 (7月～8月)

- 7月6日(日) 昼 図書室のつどい
『「働けない」をとことん考えてみた。』
- 10日(木) 夜 ブッククラブ 有吉佐和子『青い壺』
- 20日(日) 昼 はじめての銅版画
- 8月3日(日) 昼～図書室のつどい
『千葉からほとんど出ない引きこもりの俺が、一度も海外に行ったことがないままルーマニア語の小説家になった話』
- 8日(金) 夜 シリーズ〈戦後80年〉
「ナチス・ドイツー 歴史学からの検証」
- 9日(土) 昼 台湾生まれの日本人『湾生』の軌跡
- 16日(土) 朝 国立市ゆかりの画家、平松輝子・二紀和太留が込めた平和への想い
- 23日(土) 朝 親子で遊ぼう・考えよう
「プラネタリウムで星をみよう！」
- 24日(日) 昼 CINEVOX『父と暮せば』

講座の開催状況などに変更があった場合は、公民館入り口付近への掲示や、ホームページでお知らせします。ご不明の点はお問い合わせください。

公民館 ☎042(572) 5141



▲講座等の案内

ひろば



「ワッ、まぶしい・・・！（さくら通り）」

撮影 和賀一

(フォトサークルくにたち)

歌サークル「すみれの会」

楽しく歌って気分も晴れやかに！
童謡から歌謡曲まで、曲の背景なども紹介しつつ楽しく歌います。
どなたでもご参加頂けます。お試し無料。お気軽にご連絡ください。

日時 第1・3金曜日 朝10時
場所 南市民プラザ多目的ホール
連絡先 川端 050 (717) 3475

加害者としての戦争を語る会

砂川闘争70年を記念し、亀井文夫監督の記録映画『流血の記録砂川』上映と、闘争に参加し基地反対を訴え続けている島田清作さんのお話をお聞きます。

日時 7月12日(土) 昼2時
場所 公民館 3階講座室
連絡先 龍野 090 (469) 1094

くにたち国際友好会 WING

7月の国際理解講座は、カスピ海に面した欧州唯一の仏教国でありロシア連邦に属する、カルムイクア共和国出身のサグララさんに母国のお話をさせていただきます。

日時 7月20日(日) 夜7時～9時
場所 公民館3階講座室&Zoom
連絡先 西江 070 (902) 7838

台湾映画上映・台湾文化研究会

『セデック・バレ』ウェイ・ダイシオン監督の第1作『海角七号』君想う、国境の南を鑑賞し感想を語り合います。
よう。どなたでもOK。



日時 7月27日(日) 昼2時～5時
場所 公民館 3階講座室
連絡先 森川 080 (567) 7911

〈サークル訪問405〉

ド・レ・ミサークル会

楽器の王様と言われるピアノに憧れ、弾けるようになりたいと思う人は少なくない。音程を自分で取らねばならない弦楽器と違い、鍵盤を押せば音の出るピアノは、初心者を取りかきやすい楽器でもある。指の長さも力の強さも全く違う左右10本の指を均等に動かすことは、実はとても大変なのだ。

サークル名のドレミはイタリア語だ。音楽用語にはイタリア語が多い。サークル発足のきっかけは、2020年に国立市社会福祉協議会の第13期「初心者ピアノ教室」で同期となったことだ。年齢60歳以上で2年間のこの教室では、一からピアノを学ぶ。コロナによる中断はあったが2023年4月に無事、発表会を迎え終了した。しかし、すっかり仲良しとなり「これでさよならは寂しい。これから皆で時々会いたいし一緒にピアノを弾きたい。それならサークルを立ち上げよう！」と発表会後の2023年5月に「ド・レ・ミサークル会」として月2回、福祉会館に集うこととなった。

年齢は60代から80代の14名だが、各自の都合もあり毎回の参加は7、



音楽のある生活…ピアノを弾こう！

メンバーはとにかく仲が良く、練習の合間にはそれぞれの近況報告や世間話等、話は尽きない。サークルで集まる以外にも年2回の会食があり、それにはほぼ全員が参加するという。ピアノでつながる、仲良しピアノサークルだ。
なお、13期生のためのサークルのため、新規募集はしていないそうだ。

日時 月2回不定期

場所 福祉会館3階講座室

〈文・写真 公民館だより

編集研究委員 大山 葉子〉